

家庭学習のてびき

はじめに

子どもが将来の自立に向かって大きく羽ばたくためには、「生きる力」をしっかりと育むことが大切です。「生きる力」とは、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てること、すなわち「知」「徳」「体」のバランスのとれた力を育てることです。

そこで、学校・家庭・地域の連携・協力のもと、「生きる力」を育むために、家庭ではその基本的な資質や能力を培っていただければと考えております。

例えば、早寝・早起き、テレビやゲームの時間、家での仕事（手伝い）など、家でのルール等を決めることも大切なことです。また、宿題以外に復習を中心とする家庭学習や家での読書の定着も必要なことです。このように、正しい生活習慣を身に付けることは、子どもたちの将来にとってとても大切なことです。

このてびきを参考にし、お子様に学習の援助やアドバイスをしていただければと存じます。

和歌山市立福島小学校

かていがくしゅうのてびき (1・2ねんせい)

かていがくしゅう てじゅん

1 家庭学習の手順とポイント

☆テレビをけして、トイレもすませて、^{しゅうちゅう}集中できるようにしましょう。

☆つくえの上は、きれいにしておきましょう。

☆^{べんきょう}勉強する^{じかん}時間を^き決めましょう。

☆^{ねんせい}1・2年生の^{べんきょうじかん}勉強時間のめやすは、^{ぶん}20分～^{ぶん}30分です。

☆^{べんきょう}ただしいせいで、勉強をしましょう。

☆^{ほんよ}本読みや^{どくしょ}読書は、^{まいにち}毎日するようにしましょう。

☆しゅくだいだけでなく、ふくしゅうもできるといいですね。



2 ^{べんきょう}勉強のしかた

☆こくごでは

①こくごのきょうかしょが、すらすらよめることをめあてに れんしゅうをしましょう。

②ゆっくり、はっきり よみましょう。

③できるようになってきたら、かいわぶんや「、」「。」「。」にきをつけて よみましょう。

④ならったひらがな・かたかな・かんじがたたくように ひつじゅんにきをつけて れんしゅうをしましょう。

⑤ぶんしょうをかくときは、「は」「を」「へ」にきをつけて ていねいにかきましょう。

☆さんずうでは

①ずうじは ていねいにかきましょう。

②おわたたら、もういちど みなおしをしましょう。

③まちがえたもんだいは、もういちど やりなおしをしましょう。

☆どくしょでは

①すこしでも、まいにち 本をよみましょう。

②おうちのひとと よんだ本の はなしをしましょう。

③本をよみおわたたら、「としょカード」に かきましょう。

よみおわた本が、10さつ・30さつ・50さつになったら ひょうしょうします。

☆べんきょうがおわたたら

①べんきょうしたことを、おうちのひとに みてもらいましょう。

②えんぴつをけずったり、じかんわりをあわせたり、あすのじゅんびをしましょう。

③わすれものをしていないか、みなおしましょう。

家庭学習のてびき (3・4年生)

1 家庭学習の手順

- ☆テレビやゲームを消して、机の上を整理しましょう。
- ☆毎日、時間を決めて勉強をしましょう。3・4年生のめやすは、40分～50分です。
- ☆正しい姿勢^{しせう}で、勉強しましょう。
- ☆宿題だけでなく、自主学習（復習や予習、興味のあるもの）にも取り組みましょう。

2 勉強の仕方

☆国語では

- ①教科書の文や読んだ本の大切なことを、ノートにていねいに写しましょう。
- ②習った言葉を使って、短文を作りましょう。
- ③分からない言葉があれば、辞書で調べる習慣をつけましょう。
- ④新しく習った漢字やおぼえていない漢字を、しっかり覚えましょう。
- ⑤読書をしっかりして、読み終わったら「図書カード」に記録しましょう。
読み終わった本が、10さつ・30さつ・50さつになったら ひょうしょうします。

☆算数では

- ①数字は、ていねいに書きましょう。
- ②まちがえた問題は、もう一度やり直しましょう。
- ③計算問題は、正しく速くできるように 練習をしましょう。
- ④文章問題は、よく読んで 聞かれていることに答えましょう。
- ⑤三角定規（さんかくじょうぎ）・分度器・コンパスの使い方に 慣れましょう。



3 復習や予習をしよう。

学校で勉強したことを理解するためには、復習や予習をすることが大切です。どんなことをすればいいのでしょうか。例えば、次のような方法があります。

《復習》

学校で勉強した内容を、家でもう一度ふりかえます。勉強したところをもう一度読み返す。ノートに書いたことを見直す。問題をもう一度といてみる。新しく習った漢字を覚えているか確かめる。

《予習》

次の日に習うところを読んでみる。どんな勉強をするのかが分かります。分からないことがあるのは当たり前です。どんな勉強をするのか知っておくと、勉強が分かりやすくなります。

4 勉強が終わったら

- ☆勉強したことを、お家の人に見てもらいましょう。
- ☆勉強道具の忘れ物がないように、明日の準備をしましょう。

家庭学習のてびき（5・6年生）

1 家庭学習の手順

- ☆テレビやゲームを消して、机の上を整理しましょう。
- ☆毎日、時間を決めて早めに勉強をしましょう。5・6年生のめやすは、60分～70分です。
- ☆正しい姿勢で、勉強しましょう。
- ☆宿題だけでなく、自主学習（復習や予習、興味のあるもの）にも取り組みましょう。

2 勉強の仕方

☆国語では

- ①教科書の文や読んだ本の大切なことを、ノートにていねいに写しましょう。
- ②習った言葉を使って、短文を作りましょう。
- ③分からない言葉があれば、辞書で調べる習慣をつけましょう。
- ④新しく習った漢字やおぼえていない漢字を、しっかり覚えましょう。
- ⑤幅広い読書をして、読み終わったら「図書カード」に記録しましょう。（新聞や雑誌も）
読み終わった本が、10冊・30冊・50冊になったら 表彰します。

☆算数では

- ①ノートの使い方を考え、ていねいに書きましょう。
- ②間違えた問題は、もう一度やり直し できるまで挑戦しましょう。
- ③計算問題は、正しく速くできるように 練習をしましょう。
- ④応用問題にも 挑戦しましょう。
- ⑤三角定規・分度器・コンパスの使い方に慣れるため、家でも使いましょう。



3 復習や予習をしよう。

学校で勉強したことを理解するためには、復習や予習をすることが大切です。どんなことをすればいいのでしょうか。例えば、次のような方法があります。

《復習》

学校で勉強した内容を、家でもう一度振り返ります。自分で理解できることとできないことを分け、理解できていないことを中心に、自主学習しましょう。それでも分からなければ、学校で先生に教えてもらいましょう。

《予習》

次の日に習うところを読んでみる。どんな勉強をするのかが分かります。分からないことがあるのは当たり前です。どんな勉強をするのか知っておくと、勉強が分かりやすくなります。

4 勉強が終わったら

- ☆勉強したことを、お家の人に見てもらいましょう。
- ☆勉強道具の忘れ物がないように、明日の準備をしましょう。